

▽2021年 9月21日～6月26日 のWEB 報道紹介ワード整理版

☆岩手県内の医療的ケア児受け入れ可能人数 2割に満たず

NHKニュース [岩手県 09月21日](#)

> > 病や重い障害がある子どもやその家族を支援し、子育てによる離職の防止などを進めていく法律が先週、施行されましたが、県内の福祉施設などを取材したところこうした子どもを受け入れることが可能な人数は、2割に満たないことがわかりました。難病や重度の障害がある医療的ケア児やその家族を支援する法律は、先週土曜日に施行されました。法律の目的の一つとして「家族の離職防止」を掲げていて、子どもの世話によって親が仕事をやめないよう、必要な施策をとることを国や自治体の責務としています。県の把握では、作中に医療的ケア児を預けることができる福祉施設などは県内に10か所あるということですが、NHKが各施設に取材したところ、受け入れが可能な人数は最大でも合計30人ほどにとどまることわかりました。3年前の県の調査では、県内には、医療的ケア児が195人いることがわかっていますが、このうち15%ほどしか利用できないこととなります。また、一部の施設では新型コロナウイルスの影響で受け入れ自体を停止することもあり、行政による対策が急がれています。子どもの預け先がないため教師の仕事に復帰できないという20代の母親は、「毎日子どもと2人だけで社会とのつながりがなくなるのを感じる。このまま教職をやめるのはとても辛いです」と話しています。

…などと伝えています。

*『いわて医療的ケア支援ガイドブック』の発行について

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/fukushi/shougai/kokoro/1040979.html>

岩手県保健福祉部

障がい保健福祉課療育担当 令和3年5月21日

☆「付き添いない教育参加を」

医療的ケア児の親ら要望 支援法施行で

朝日新聞デジタル [2021年9月19日](#)

https://digital.asahi.com/articles/ASP9L72KJP9KPTIL01P.html?iref=pc_ss_date_article

> > たんの吸引や人工呼吸器、胃ろうといった医療的ケアが必要な子どもたちの支援法が施行されるのに合わせ、保護者らでつくる団体が17日、保護者の付き添いなく参加できる教育環境の拡充を求める要望書を大阪府教育委員会に提出した。医療的ケア児は全国に約2万人いるとされ、18日に施行された「医療的ケア児支援法」では、基本理念として医療的ケア児でない児童とともに教育を受けられるよう最大限配慮しなければならないという趣旨を明記している。要望したのは、府内の保護者や医療、福祉、法律の専門家で作る「医療的ケア児就学支援の拡充をめざす会」。医療的ケア児の息子(5)を育てる代表の女性(37)は「学校での付き添いを求められることも多く、保護者の多大な負担になっている」と指摘。すでに行っている学校看護師や特別支援学校の通学支援を拡充するよう要望した。

…などと伝えています。

*医療的ケアを必要とする児童に対する

就学支援の拡充をめざす会

HP <https://iryotekicareshuugaku.amebaownd.com/>

FB <https://www.facebook.com/%E5%8C%BB%E7%99%82%E7%9A>

[https://www.facebook.com/%E5%8C%BB%E7%99%82%E7%9A](https://www.facebook.com/%E5%8C%BB%E7%99%82%E7%9A%E3%82%B1%E3%82%A2%E3%82%92%E5%BF)

[E3%82%B1%E3%82%A2%E3%82%92%E5%BF](https://www.facebook.com/%E5%8C%BB%E7%99%82%E7%9A%E3%82%B1%E3%82%A2%E3%82%92%E5%BF)

[E5%85%E8%A6%81%E3%81%A8%E3%81%99%E3%82%8B%E5%85%90%E7%AB](https://www.facebook.com/%E5%8C%BB%E7%99%82%E7%9A%E3%82%B1%E3%82%A2%E3%82%92%E5%BF)

[A5%E3%81%AB%E5%AF%BE%E3%81%99%E3%82%8B%E5%B0%B1%E5%AD](https://www.facebook.com/%E5%8C%BB%E7%99%82%E7%9A%E3%82%B1%E3%82%A2%E3%82%92%E5%BF)

[A6%E6%94%AF%E6%8F%B4%E3%81%AE%E6%8B](https://www.facebook.com/%E5%8C%BB%E7%99%82%E7%9A%E3%82%B1%E3%82%A2%E3%82%92%E5%BF)

[A1%E5%85%85%E3%82%92%E3%82%81%E3%81%96%E3%81%99%E4%BC%9A-](https://www.facebook.com/%E5%8C%BB%E7%99%82%E7%9A%E3%82%B1%E3%82%A2%E3%82%92%E5%BF)

[100110298732762/](https://www.facebook.com/%E5%8C%BB%E7%99%82%E7%9A%E3%82%B1%E3%82%A2%E3%82%92%E5%BF)

☆医療的ケア児、身近に感じて

オンライン写真展、スライドで紹介/佐賀

毎日新聞 [2021/9/19 地方版](#)

<https://mainichi.jp/articles/20210919/ddl/k41/040/198000c>

> 医療機器などを使って生活する子ども「医療的ケア児」と、その家族への支援を充実させる法律が18日に施行されたのにあわせ、オンライン写真展「医ケアっ子、つながれ!笑顔のわ」が同日あった。事前に申し込んだ約100人がオンライン会議システム「Zoom」で参加した。

…などと伝えています。

☆「医療的ケア児」の教育環境の改善を訴え

保護者らが大阪府に申し入れ

関西テレビニュース [9/17](#)

> 人工呼吸器など「医療的なケア」が必要な児童の保護者たちが、大阪府に申し入れを行いました。9月17日に大阪府に申し入れを行ったのは、日常生活で医療面での介助が必要な「医療的ケア児」の保護者や福祉専門家の団体です。国の推計では、0歳から19歳の医療的ケア児は約2万人で、大阪府の調査によると、府内に1757人いるということです。人工呼吸器を使用する児童については、特別支援学校でも保護者が常時付き添うよう求められているのが現状だと、保護者達は教育環境の改善を府に求めています。

【医療的ケア児の母親】

「（医療的ケア児の）保護者は24時間365日休むことなく、子どものケアを行っています」「学校に行くところにも保護者の付き添いを求められると、保護者は生活がままならなくなってしまってます」

9月18日に施行される法律では、医療的ケア児に対する支援が国や自治体の「責務」と明記されていて、大阪府教育長は「引き続き支援に努めていきたい」と話しています。

…などと伝えています。

☆医療的ケア児に支援 保護者ら大阪府に要望

読売テレビニュース [2021.09.17](#)

☆医療的ケア児にデイサービスもっと

母がつくる放課後の居場所

東京新聞 2021年9月17日

> 病気や障害で日常的にたんの吸引や酸素吸入などの医療的なケアを子どもたちが増えている。医療の進歩で、以前なら助からなかった多くの命が救われるようになった成果だが、特別なニーズ抱えているため、受け入れる保育所や学童用の施設は依然として少ない。「ならば自分たちでつくろう」と、東京都世田谷区では、保護者たちデイサービス施設をつくる準備を進めている。12月の開所を目指す。

…などと伝えています。 その紙面

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/tokyonews20210917.jpg>

☆宜野湾市が「医療的ケア児」の実態調査へ

支援内容や通園通学の予定を聞き取り

沖縄タイムス+プラス [2021年9月18日](#)

<https://www.okinawatimes.co.jp/articles/-/832919>

> たんの吸引などを日常的に必要とする「医療的ケア児」について、沖縄県宜野湾市が実態調査に乗り出すことが分かった。本年度に市内のケア児の実数を把握し、来年度にそれぞれのケア児が必要とする支援内容や通園・通学予定などを個別に聞き取る。「医療的ケア児支援法」が18日に施行され、保育所や学校の設置者である市はケア児の支援が責務となった。受け入れ態勢を整えるには実態調査が必要と判断した。

…などと伝えています。

その紙面①

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20210918okinawa01.jpg>

その紙面②

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20210918okinawa02.jpg>

☆医療的ケア児

「地域の学校への就学は基本的人権」 家族会の願い

毎日新聞 大阪 [2021/9/17](#)

<https://mainichi.jp/articles/20210917/k00/00m/040/036000c>

> たんの吸引や人工呼吸器など日常的に医療的なケアが必要な子どもと家族を支援する「医療的ケア児支援法」が18日、施行される。国や自治体の支援策を「責務」としている。医療的ケア児を取り巻く環境は現在、どんな状況なのか。人工呼吸器をつけて暮らす人と家族でつくる「バクバクの会～人工呼吸器とともに生きる～」(大阪府箕面市)事務局、平本美代子さん(70)に聞いた。

…などと伝えています。

その紙面

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20210917mainiti.pdf>

☆医療的ケア児の日常伝える

「オンライン写真展」 18日に支援法施行

朝日新聞デジタル [2021年9月17日](#)

<https://digital.asahi.com/articles/ASP9J6S0XP9HTIPE02M.html>

> 胃ろうやたんの吸引といった医療的ケアが日常的に必要な子ども「医療的ケア児」と、その家族への支援を充実させる法律が、18日に施行される。これに合わせ、ケア児を身近に感じてもらおうと、保護者らが18日午後2時からオンラインの「写真展」を開催する。きょうだいとゲームで遊んだ日、家族で散歩に出かけた日、初めて遊園地に行った日――。佐賀県内に住むケア児23人とその家族らの日常を写した80枚を、スライドショーで紹介する。

…などと伝えています。

その紙面

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20210917asahi.pdf>

その紙面

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/asahi20210917.jpg>

☆「お風呂にね、入りたいんです」彼女が託した“最後の声”

News Up NHKニュース [2021年9月16日](#)

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210916/k10013253641000.html>

> はじまりは1通のメール北陸の厳しい冬が終わったことし3月末。NHKの「ニュースポスト」と呼ばれる視聴者からの投稿フォームに、1通のメールが届きました。差出人は金沢市内に住む女性です。“私はALSの患者です。在宅で療養していますが、介護サービスの「訪問入浴」の利用を断られ、お風呂に入れる予定が全くありません。この現状をニュースで取り上げて改善してもらいたいです”このとき私（松葉）は記者になってまだ1年足らず。

…などと伝えています。

☆障害児保護者の再就職をサポートする

『障害児かぞく「はたらく」プロジェクト』

2021年9月17日よりサービスイン

認定NPO法人フローレンスのプレスリリース [2021年9月17日](#)

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000209.000028029.html>

> 2021年9月18日（土）より、日本の歴史上初めて、国や地方自治体が医療的ケア児とその家族への支援に「責務」を負うことを明文化した「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」が施行され、医療的ケア児家庭を取り巻く環境を改善する機運はますます高まっています。2014年から障害児家庭支援事業を運営する認定NPO法人フローレンスは、本日2021年9月17日より、障害のあるお子さんを親御さんに代わってお預かりしながら、再就職を希望する親御さんに向けたサポートプログラムを提供する『障害児かぞく「はたらく」プロジェクト』をサービスインします。

…などと伝えています。

☆18日新法施行「医療的ケア児」と家族の支援を検討／青森市

A B A 青森朝日放送 [2021/09/16](#)

<https://www.aba-net.com/news/news-25749.html>

> 「医療的ケア児」と呼ばれる、医療的なサポートを必要とする子どもたちについてです。日常的にたんの吸引、さらに食事もチューブを使って補給するといったサポートが必要で、保育所などの受け入れ先が課題となっています。この「医療的ケア児」や家族の支援をする新しい法律が18日に施行されます。それを前に、課題や対応策について話し合う検討部会が、青森市で開かれました。

…などと伝えています。

* 「医療的ケア児」の支援拡充求める声相次ぐ

県の検討部会で

NHKニュース 青森県 [09月15日](#)

△[医療的ケア児支援について](#)

2021年8月4日 青森県障害福祉課社会参加推進グループ

<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenko/syofuku/iryouteki-care.html>

☆富山市 医療的ケア児 76人 3月時点、市議会で市報告

北陸中日新聞 富山 [2021年9月16日](#)

https://www.chunichi.co.jp/article/330984?rct=k_toyama

> 富山市は十五日の市議会で、日常的に人工呼吸器などの使用が必要な「医療的ケア児」が三月時点で市内に七十六人いることを明らかにした。

…などと伝えています。

☆医療ケア児 受け皿不足…支援法18日施行

保育施設 人材確保難しく

読売新聞 2021/09/15 夕刊

> 日常生活で医療面での介助が必要な「医療的ケア児」を受け入れ可能な保育施設が不足している。子どもの成長を促し、保護者の就労を保障を守るために欠かせないが、ケアを担う人材確保の難しさが背景にある。18日施行の医療的ケア児支援法は、適切な支援を国や自治体の責務と定めており、支援の充実が求められている

。…などと伝えています。

その紙面

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20210915yomiuri.jpg>

☆社説：医療的ケア児の新法 社会で支えるきっかけに

毎日新聞 [2021/9/15 東京朝刊](#)

<https://mainichi.jp/articles/20210915/ddm/005/070/114000c>

> 日々の生活で、人工呼吸器や胃ろうなどの医療的ケアを必要とする子どもを支援する新法が施行される。全国どこでも適切なサポートが受けられる体制作りを目指す。当面の課題は、保護者が付き添わなくても学校や保育所に通えるようにすることだ。厚生労働省の推計では、在宅生活を送る19歳以下の当事者は約2万人に上り、増加傾向にある。…略… 地元でどのような援助を受けられるのか、調べることさえ家族は苦労してきたという。新法には、都道府県が家族の相談に応じる支援センターを設置することも盛り込まれている。医療や教育、福祉などの関係機関は連携を強めてほしい。

…などと伝えています。

☆2歳児保育、医療的ケア児など園選び最新情報

京都のNPOが冊子、100施設紹介

京都新聞 [2021年9月14日](#)

<https://www.kyoto-np.co.jp/articles/-/632796>

> 京都市内を中心に幼稚園や保育園など約100施設を紹介した冊子「[京都 幼稚園・保育園・認定こども園情報vol.16](#)」が発刊された。医療的ケア児の受け入れや、幼稚園の2歳児保育に関する特集をはじめ、園選びの参考になるよう最新情報を盛り込んだ。[NPO法人「子育て支援コミュニティ おふいすパワーアップ」](#)（下京区）が毎年作製。特集では、医療的ケア児や難病児を受け入れたり、看護師を配置したりしている11施設を記載。

…などと伝えています。

- ・「[京都 幼稚園・保育園・認定こども園情報vol.16](#)」

<https://www.office-powerup.com/youho/>

- ・[NPO法人「子育て支援コミュニティ おふいすパワーアップ」](#)

<https://www.office-powerup.com/>

☆「親なき後」を見据えて～障害者の自立～

[西日本新聞8回連載（完）](#)

<https://www.nishinippon.co.jp/serialization/independent-living-for-severely-disabled-people/>

> 重い障害者が親元を離れ、自立して暮らしていくには何が 필요한のか。成人後、親亡き後を見据え、さまざまに模索する当事者たちの姿から考える。

…などと伝えています。

*「親亡き後」見据えて（8） 記者ノート [2021/9/9](#)

<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/798070/>

医ケア児の受け皿、地域で一歩ずつ

まず宿泊体験の機会から

> 連載「親亡き後見据えて」は、重い障害者を自宅で介護する親たちの高齢化が進むなか、いずれわが子を安心して託せる受け皿が地域社会にどれくらいあるのか、その「現在地」を見極める狙いがあった。医療的ケア（医ケア）が必要な人の場合、現行制度では原則、医療職しか見守りができない。

…などと伝えています。

その紙面

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20210909nininipon.pdf>

* 「親亡き後」見据えて（7）[2021/9/2](https://www.nishinippon.co.jp/item/n/794609/)

<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/794609/>

その紙面

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20210902nininipon.pdf>

強度行動障害 つながりが力に 親や支援者がオンラインでも会合

* 「親亡き後」見据えて（6）[2021/8/26](https://www.nishinippon.co.jp/item/n/791025/)

<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/791025/>

その紙面

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20210826nininipon.pdf>

やむなく選んだ「独り立ち」 家族との適度な距離、生活に落ち着き

* 「親亡き後」見据えて（5）[2021/8/19](https://www.nishinippon.co.jp/item/n/787374/)

<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/787374/>

その紙面

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20210819nininipon.pdf>

“ついのすみか”に現実の壁 人手不足で医療的ケア困難、赤字運営

* 「親亡き後」見据えて（4）[2021/8/5](https://www.nishinippon.co.jp/item/n/780808/)

<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/780808/>

その紙面

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20210805nininippon.pdf>

家族による介護、なぜ前提？ GH 入居者の重度化支援、政令市で格差

* 「親亡き後」見据えて（3）[2021/7/22](https://www.nishinippon.co.jp/item/n/774245/)

<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/774245/>

その紙面

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/nininippon20210722.pdf>

子離れ「余力」あるうちに 重度障害者の親、共に悩み支え合う

* 「親亡き後」見据えて（2）[2021/7/15](https://www.nishinippon.co.jp/item/n/770741/)

<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/770741/>

その紙面

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20210715nininipon.pdf>

夜間の見守り増やすには 近所のボランティア、家事援助に名乗り

* 「親亡き後」見据えて（1）[2021/7/8](https://www.nishinippon.co.jp/item/n/767254/)

<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/767254/>

その紙面

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20210708nininipon.pdf>

「自ら選ぶ経験、積ませたい」 娘が世帯主、重度者4人のシェアハウス

☆ 「保育園見つからず退職」「学校付き添いで共働きできず」…

医療的ケア児と家族に安心の環境を 18日支援法施行

ヨミドクター(読売新聞) [2021年9月8日](https://www.yomiuri.co.jp/article/20210906-OYTET50017/)

<https://www.yomiuri.co.jp/article/20210906-OYTET50017/>

> 日常的に医療が欠かせない子ども「医療的ケア児」（医ケア児）やその家族への適切な支援を求める「医療的ケア児支援法」が、18日に施行される。九州・山口でも支援が進んでいるが、取り組みには温度差もある。

…などと伝えています。 その紙面

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20210908yomiurineews01.pdf>

☆元 NHK アナ内多勝康さんは早期退職しホスピスに

医療ケア児とその家族に捧げる「第二の人生」

日刊ゲンダイ DIGITAL [2021/09/06](https://www.nikkan-gendai.com/articles/view/geino/294174)

<https://www.nikkan-gendai.com/articles/view/geino/294174>

> 内多勝康さん（58歳／元 NHK アナウンサー）

9月18日、難病や障害のため在宅で医療的ケアが必要な子供たちや家族をサポートする「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」が施行される。NHKのニュース番組や生活情報番組のアナウンサー、キャスターとして30年にわたり活躍し、5年前に52歳にして早期退職した内多さん。この法律を心待ちにしていたひとりだ。都内世田谷区大蔵。緑豊かな国立成育医療研究センターの一角に、内多さんが転職した[医療型短期入所施設「もみじの家」](#)がある。ウチの施設は、障害者総合支援法に基づき、成育医療研究センターが設立しました。医療的ケア児と家族が最長9泊10日まで過ごしていただけるショートステイサービスを行っています。具体的には、呼吸管理、痰の吸引、チューブから水分や栄養を直接胃や腸へ送る『経管栄養』などの日常生活を援助するケアを行っていて、治療のために行う医療行為と区別するために『医療的ケア』と呼んでいます

- ・内多さんの業務は？
- ・NHKアナ時代に社会福祉士の資格を取得
- ・「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」は、どこが画期的なのか？

…略… 「60歳の定年まであと2年。医療的ケア児の全国ネットワークをつくれなかな、と思って動いてる最中です」

…などと伝えています。

* [医療型短期入所施設「もみじの家」](#)

<https://home-from-home.jp/>

☆【まこちゃんは1年生】地域で学ぶ医療的ケア児

京都新聞 8/31～9/3まで4回連載

> 近年の医療の発達で、人工呼吸器による呼吸管理やたん吸引、経管栄養などが必要な「医療的ケア児」が全国的に増えており、9月には医療的ケア児と家族に対する支援法が施行される。亀岡市では今年初めて、公立の小学校で医療的ケア児を受け入れた。地域の学校で学ぶ真琴さんに密着し、その日常を見つめた。

…などと伝えています。

* ①難病の「まこちゃん」のため両親奔走、
地元小学校に入学かなう

京都新聞 [2021年8月31日](#)

<https://www.kyoto-np.co.jp/articles/-/626068>

> 1年1組の教室に一番乗り

きゃしゃな体に真新しいランリュックを背負った西山真琴さん（6）が、1年1組の教室に一番乗りした。暖かさが増しすっかり春めいた4月8日。真琴さんは亀岡市内の小学校の入学式に臨んだ。お気に入りのキャラクターのマスクを着け、「まこちゃん、今日は5時50分に起きてん」。教室の名簿を眺めながら、同級生の到着を心待ちにしていた。

…などと伝えています。 その[紙面](#)

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20210831kyotonews01.pdf>

* ②気管カニューレ、友だちとおしゃべり

たん吸引と小学校

京都新聞 [2021年9月1日](#)

<https://www.kyoto-np.co.jp/articles/-/628440>

> 「令和2年3月現在 吸引頻度は体調による（15分～2、3時間おき）タイミングは遊びや活動前に」「6月 給食は一口大の大きさ。時間がかかる」「7月 カニューレ（気管に挿入する管）をつけながらも発声をはっきりし、先生やお友達と会話できる。走り回ったり、遊具に登ったり、縄跳びができる」。難病「クルーゾン症候群」の影響で、日常的にたん吸引が必要な京都府亀岡市の小学1年、西山真琴さん（6）。3歳で地元の保育所に入所して以来、両親は、専属の看護師が付いて医療的ケアをした保育所での過ごし方を事細かに記録してきた。

…などと伝えています。 その[紙面](#)

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20210901kyotonews02.pdf>

* ③休み時間の移動に大忙し、学校生活で体力付いた

京都新聞 [2021年9月2日](#)

<https://www.kyoto-np.co.jp/articles/-/628441>

> 「しゅじゅつがんばってね」「がっこうにきたときはいっしょにはるみつけにいこうね」。京都府亀岡市内の小学校に通う1年生西山真琴さん（6）に、

…などと伝えています。 その紙面

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20210902kytonews03.pdf>

*④長い夏休み、自宅前で家族と水遊び「一番安心」

京都新聞 2021年9月3日

<https://www.kyoto-np.co.jp/articles/-/628442>

> 7月下旬、せみしぐれが降る中、京都府亀岡市の小学校で1学期の終業式があった。たん吸引の医療的ケアが必要な1年生西山真琴さん（6）は、特別支援学級で初めての通知表や宿題を受け取った。

…などと伝えています。 その紙面

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20210903kyotonews04.pdf>

☆「医療的ケア児」の学校生活 ～地域の子もたちと共に～

読売テレビ かんさい情報ネットten. 2021年9月1日放送

youtube 2021/09/02

<https://www.youtube.com/watch?v=Mym37ZBnCyA>

> 「医療的ケア児」とは、酸素投与やたん吸引などが日常的に必要な子どもたちです。国内におよそ2万人いる一方、大きな壁があるとされているのが学校生活。そんな中、先生や看護師たちに支えられながら、地域の子もたちと同じ学校に通う医療的ケア児たちがいます。友達やクラスメートたちと、共に学び成長する日々を追いました。

…などと伝えています。

☆難病と闘う3歳の女の子 念願の療育へ

医療的ケア必要な3歳の女の子

療育施設デビュー！ ドキドキ初日は？

鹿児島読売テレビ 2021.09.02

> 以前 every. で紹介した医療的ケアを必要とする3歳の女の子が、身体障害者手帳を取得し念願の療育施設に通えることになった。

…などと伝えています。

☆「重い障害児を地域の保育園で」手探りの挑戦 豊田市

朝日新聞デジタル 2021年8月30日

<https://digital.asahi.com/articles/ASP8Y7DSXP8NOBJB006.html>

> 重い障害がある乳幼児を自宅近くなどの地域の幼保子ども園で受け入れ始めた愛知県豊田市で今年度、研修派遣で障害児保育の知識や技術を身につけた保育士が、現場で力を発揮している。勤務先の園では同僚保育士らが障害の子に対する理解、接し方を習得するうえでも指導的な役割を担いつつある。

市は2017年まで、重症児に専門の支援員のいる「市こども発達センター」での療育を勧めてきた。ところが、地域園への通園希望者を入園保留とした市の処分が19年、保護者の請求した行政不服審査で取り消しに。さらに親の就労や、健常児らと交わる地域での子育てを望む声などを尊重し、市は「地域園受け入れ」に方針転換した。

ある日の「足助もみじこども園」。3歳児クラスで嚥下（えんげ）に心配がある「けんちゃん」の昼食を、保育士15年目の松本恭平さん（36）が介助していた。体が揺れないよう、牛乳パックを組み合わせたいすは発達センターの手づくりだ。園に届いた給食は、看護師ら限られた担当職員が刻んだりペースト状にしたり、のみ込みやすく手を加える。

心身の発達に遅れがあるけんちゃんだが、春の進級以来、お店屋さんごっこが大好きになり、同い年の子たちと言葉はななくとも自然なやり取りが見られるようになった。母親は「体幹もしっかりし、ひざ立ちで遊ぶようになった」と喜ぶ。嚥下障害も原因になり得る肺炎にならなくなり、自分は9月に職場復帰する。

松本さんは昨年度、センターに研修派遣された。保健師で市保育課の能見悦代・副主幹によると「もし希望者がいなかったら」と心配しつつ募集をしたところ8人が手を挙げた。1期目として松本さんら2人が選ばれ、今年度も別の2人が研修を受けている。

松本さんは、過去に勤めた園で障害がある子と出会い、「より良い関わりができ、進路指導などで子にも親にも助言ができた」と応募した。診療所も併設するセンターで知的、身体的、医療的な障害のある子のケアや保護者との関わり方など知識や技術を習得。今年4月、現在の園に赴任した。

健常児と重症児の同時保育の体制づくりは、園も手探りだった。例えば、食事の工夫をだれがどんな環境で、どんな道

具を使ってやるのか。センターでの調理の仕方を見学し、来園もしてもらって助言を得たという。河野妙園長は、保育士の不安軽減を図る園と、センター、市保育課の助言・協力と「三つの連携が安心安全につながる」と感じている。園では今、松本さんを講師に研修会も催し、障害児をめぐる知識、技術の共有を図っている。

松本さんらは研修中に胃ろうや、たんの吸引も学んだ。さらに現場経験が加われば、特定の人だけに医療行為が可能な「認定特定行為業務従事者」の資格が得られ、医療的ケアができる保育士が誕生する。市の担当者は「研修派遣から戻った保育士が、吸収したスキルを地域園でアウトプットする仕組みはつくった。対応できる人が増えれば、市全体の保育が充実する」と手応えを感じている。

…などと伝えています。

☆「毎日学校に行きたい」医療的ケア児の願い

日テレNEWS 24 [2021年8月29日](#)

https://www.news24.jp/articles/2021/08/29/04931243.html?cx_recslick=0#cxrecs_s

> たんの吸引や人工呼吸器の管理など、日常的に医療的なケアを必要とする子どもたち。毎日、学校に通いたいという願いの前に、ある課題が立ちはだかっています。

- ・学校に行ける日は“週に2日”
- ・学校看護師が足りない
- ・医療的ケア児の成長を見守る喜び
- ・国会でも動き 支援法が成立
- ・初めて言えた“また明日”

…などと伝えています

*【医療的ケア児】

中学1年生 萌々華さんの願い「毎日 学校に行きたい」

(2021年8月27日放送「news every.」より)

[youtube 2021/08/29](#) でも

<https://www.youtube.com/watch?v=ppLsPQV7mBU>

☆障害者家族の老いる権利

佛教大学教授 田中 智子さん

家族自身の人生尊重し ケア役割を社会に移す

しんぶん赤旗 焦点・論点 2021年8月29日

> 長寿化社会のいま、障害者をめぐっても高齢化に伴う新たな生活課題が生じています。高齢の親が障害のある子どもを介助する「老障介護」、「親亡き後」に誰が障害のある子どものケアを担うのか…。「障害者家族の老いる権利」が近著の、佛教大学の田中智子教授に聞きました。

- ・障害者の家族の「老いる権利」に着眼していますね。
- ・いまの社会福祉制度は、親亡き後の障害者を支援するには弱い弱ですね。
- ・障害者19人が2016年7月に殺害された事件は、相模原市の「津久井やまゆり園」という入所施設で起きました。
- ・障害者家族の老いる権利を保障するには？

…などと伝えています。 その[紙面](#)

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/akahata20210829.jpg>

* [障害者家族の老いる権利](#)

全障研出版 著作：田中 智子 定価：1980円

<http://www.nginet.or.jp/shuppan/2021/tanaka2021.html>

☆「医療的ケア児支援法」施行を前に母親らが岩手県に要望書

NHKニュース 岩手県 [08月24日](#)

> たんの吸引や人工呼吸器など医療的なケアが必要な子ども「医療的ケア児」やその家族を支援するため、国や自治体に必要な対応を求める法律が来月施行されるのを前に、ケアが必要な子どもの母親らが、岩手県に対し幼稚園や学校に看護師を配置することなどを求める要望書を提出しました。「医療的ケア児支援法」では、国や自治体に支援の責務があると明記したうえで、必要な対応を取るよう求めています。来月18日に施行されるのを前に24日、医療的ケア児の母親ら3人が岩手県への要望書を連名で提出しました。「医療的ケア児」は全国に推計で2万人以上いるとされ

ていますが、進学先が限られるなどの課題が指摘されています。要望書では、保護者の付き添いがなくても通園や通学ができるよう、幼稚園や保育所、学校にたんの吸引などのケアができる看護師や保育士などを配置することや、子どものケアのため仕事を辞めざるを得ない親のサポートを行うことなどを求めています。県の担当者は「貴重な意見をいただいた。いち早く検討する」と話しました。子どもが、一時、医療的ケアを受けていたという小笠原綾子さんは「日々の生活に密接なことに子どもや親は困っている。県には当事者1人1人の声を反映した施策を期待したい」と話していました。

…などと伝えています。

☆[連載「障害のある子と生きる家族が伝えたいこと」](#)

https://dot.asahi.com/columnist/profile/series/?series_id=erikawa_c_series1

* [前編](#)：「親としての自分を大切に」

<https://dot.asahi.com/aera/2021082300044.html>

医療的ケア児支援法施行に

障害を持つ子の親と専門家が語り合った

AERA dot. (アエラドット) 2021.8.24

> 障害を持つ子どもを持ち、滞在先のハワイでインクルーシブ教育に出会った江利川ちひろさんが、インクルーシブ教育の大切さや日本での課題を伝えるこの連載。今回は、9月18日に「医療的ケア児支援法」が施行されるのに合わせ、江利川さんが、医療的ケアが必要な長女（15歳）の主治医・江田明日香さん（かるがも藤沢クリニック院長）、障害児保育や特別支援教育に詳しい鎌倉女子大学教授の小林保子さんと、当事者から見える医療的ケアや法律に期待することなどを語り合いました。2回に分けてお伝えします。前編です。

- ・前例のない医療的ケア導入まで
- ・孤立する障害児の親たち
- ・医療的ケア受け入れは地域や学校次第
- ・親がケースワーカーも兼ねる
- ・自分を犠牲にするのはおかしい
- ・親である自分を大切に

…などと伝えています。

* [後編](#)：「知らない」から「怖い」を超えるために

<https://dot.asahi.com/aera/2021082300049.html>

医療的ケア児支援法に当事者と専門家が伝えたいこと

AERA dot. (アエラドット) 2021.8.24

> ・知らないから怖い

- ・保育園での受け入れが進まない理由
- ・分け隔てのある教育の弊害
- ・学校医の巡回診療が壁
- ・巡回診療医の立場は
- ・学校に丸投げしない
- ・医療的ケア児支援法への期待

…などと伝えています。

☆T O K Y O M X 田村淳の訊き放題 [8月14日のテーマ](#)

> 田村淳が話題の

「ニュースの裏側」を徹底的に訊きたい放題！

▽学校に行きたい！行かせたい！

医療的ケア児を知っていますか？

▽ゲスト：地域ケアさぽーと研究所・理事・下川和洋

／憲法学者・木村草太

…が出演されていました。

* 番組内での 【#キキタイ世論調査】

最終結果発表です！

あなたは医療的ケア児を知っていますか？

1.知っていた 2874pt 2.知らなかった 7861pt

*放送で使用した資料パネル

- ・医療的ケア児とその家族に立ちふさがる壁
 - ・「医療的ケア児支援法」と課題
- …パネルよくまとめられています。

……その放送部分を[ワード版整理で](#)

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20210814tokyomx01.pdf>

☆医療的ケア児、都内 2 千人超 新法で自治体に支援義務

日本経済新聞 [2021年8月13日](#)

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOCC102TN0Q1A810C2000000/?unlock=1>

＞ 日常的にたん吸引や人工呼吸器などのケアが必要な「医療的ケア児」や家族に対する支援を自治体に義務付ける医療的ケア児支援法が9月18日に施行される。東京都内では世田谷区や杉並区などが先駆的に支援に取り組んできた。支援団体からは施行をきっかけに自治体間の格差解消が進むと期待の声が上がる。

…などと伝えています。 その[紙面](#)

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20210813nikkei.pdf>

☆医療ケア児支援拠点に補助 ワンストップで相談対応―厚労省

時事通信 [2021年08月13日](#)

<https://www.jiji.com/jc/article?k=2021081200642&g=soc>

＞ 厚生労働省は、人工呼吸器の管理やたんの吸引などが日常的に必要な「医療的ケア児」への支援強化に乗り出す。さまざまな相談にワンストップで対応する「医療的ケア児支援センター」を設置・運営する都道府県に対し、スタッフの person 費や関係機関との会議開催費などを補助することを検討。2022年度予算概算要求に関連経費を盛り込む方向で調整している。厚労省によると、在宅の医療的ケア児は全国に約2万人いるとみられる。本人と家族を包括的にサポートするため、センターの設置促進を求める議員立法の医療的ケア児支援法が今年6月に成立。9月18日に施行される。

医療的ケア児の支援には、医療・教育機関や市区町村など、さまざまな分野の関係者の協力が不可欠。ただ、相談を一括して受け付ける窓口を設ける都道府県は少ないとみられ、本人と家族を支える場を望む声が上がっていた。

センターの運営は都道府県が直接担うか、指定する社会福祉法人などに委託できる。医療的ケア児の人数は地域によって差があるため、厚労省はセンターやスタッフの数などに統一的な基準は設けていない。ただ、保健師ら一定のノウハウを持つ人を含めた配置が望ましいとしている。センターは相談内容に応じて、各種支援サービスに関する情報提供や関係機関との調整を行う。看護師を配置し医療的ケア児を受け入れている学校を紹介したり、介護に当たる家族が休息を取れるよう医療的ケア児を預かるショートステイサービスの利用を提案したりすることなどを想定している。

…などと伝えています。

*学校に看護師ら2800人 医療ケア児の通学支援―文科省

時事通信 [2021年07月11日](#)

<https://www.jiji.com/jc/article?k=2021071000359&g=soc>

＞ 文部科学省は、人工呼吸器やたんの吸引などが日常的に必要な「医療的ケア児」が学校に通いやすい環境を整えるため、公立学校に看護師らを配置する自治体への支援を強化する方針を固めた。新たに2800人の配置を目指す。学校教育法施行規則を近く見直し、学校の支援スタッフに看護師らを追加する。

厚生労働省の推計では、在宅で治療を受ける医療的ケア児は約2万人。ただ、看護師らのサポートを受けられるのは主に特別支援学校に限られており、長距離通学を余儀なくされたり、通学自体を断念したりするケースが少なくないという。文科省によると、2019年の時点で私立を含む全ての幼稚園と小中高校に在籍する看護師は計1122人。

そこで文科省は、公立学校に看護師や保健師を配置する自治体を財政支援し、医療的ケア児が身近な学校に通える環境を確保する。低年齢の子どもの場合、トイレなどで手助けが必要となるため、主に小学校への配置を想定している。

看護師らは配置先で、人工呼吸器による呼吸管理や胃ろう、たんの吸引のほか、体調が急変した場合の診療補助などに当たる。人件費の一部を国が補助する。同省は22年度予算概算要求に関連経費を計上する。

医療的ケア児をめぐるのは、国や自治体に支援の責務があることを明記した法律が先の通常国会で成立した。同省は、新型コロナウイルス感染拡大やワクチン接種への対応で、看護師が全国的に不足する中、自治体への支援を通じ必要な人材の確保につなげる。現在は勤務していない「潜在看護師」の活用も呼び掛ける。

☆たん吸引の技術や知識学ぶ 介護職員ら対象に実地研修

A L S 協鹿児島支部

奄美新聞 [2021年7月30日](#)

<https://amamishimbun.co.jp/2021/07/30/32734/>

＞ 介護職員等が重度障がい者や要介護者らのたんの吸引を実施するための資格取得に必要な、「喀痰（かくたん）吸引等研修事業第三号研修」が30日、奄美市の県立奄美図書館であった。島内の在宅介護などを行っている事業所の介護職員ら約20人が受講、たん吸引の技術や障がい者支援に関する知識などを学んだ。研修は「社会福祉士及び介護福祉士法」に基づき、医師、看護師等との連携のもと、安全にたんの吸引等を提供できる介護職員等を養成することを目的に、県の委託を受けた日本A L S協会鹿児島県支部が実施。障がい福祉制度の概要や喀痰吸引制度の成り立ち、重度障がい者（児）への理解などについての講義と実際にたん吸引の実習が31日までの2日間に渡り行われる。

…などと伝えています。

△令和三年度喀痰吸引等研修事業第三号研修

[\(特定の者対象\)の開催について](#) 2021年7月7日

鹿児島県くらし保健福祉部障害福祉課療育支援係

<http://www.pref.kagoshima.jp/ae07/kenko-fukushi/syogai-syakai/ziritushien/oshirase/kakutan27.html>

* 鹿児島県喀痰吸引等業務（特定の者対象）に係る[登録研修機関の公示](#)について

くらし保健福祉部障害福祉課 2021年4月1日

<http://www.pref.kagoshima.jp/ae07/kenko-fukushi/syogai-syakai/shintai/shien/20130807.html>

☆ヤングケアラーと障害者家族支援 川口有美子

聖教新聞 社会・文化 [2021年8月3日](#)

＞ イギリスに遅れて日本でも、親や祖父母の介護をする18歳未満の子ども「ヤングケアラー」の存在がクローズアップされています。

…などと伝えています。 その紙面

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20210803seikyonews.jpg>

☆生き方広がる機会に 医療的ケア児支援法成立

日本海新聞 [2021年6月26日](#)

＞ 医療的ケア児とその家族を支援する法律が先の通常国会で成立した。法律では、これまで努力義務だった支援を「責務」と位置付け。医療的ケア児が保育所や学校に通うために必要な人材確保を自治体へ求めている。「本人や家族の生き方の選択肢が広がる機会となれば」。鳥取県内で医療的ケア児と向き合う当事者と関係者の思いを探った。

…などと伝えています。

その紙面①

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/nihonkai2021062601.jpg>

その紙面②

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/nihonkai2021062602.jpg>